



No.186

2026.2.27

# 高知県理学療法士協会ニュース

発行：公益社団法人 高知県理学療法士協会



撮影：東 大和生

## contents

- |               |   |                         |     |
|---------------|---|-------------------------|-----|
| ❖ 目次          | ❶ | ❖ モルック&パーベキュー交流会        | ❶❷  |
| ❖ メールアドレス登録   | ❷ | ❖ 高知県理学療法士連盟だより         | ❶❸  |
| ❖ 巻頭言         | ❸ | ❖ 災害時の理学療法士の役割          | ❶❹  |
| ❖ 受章・受賞記念祝賀会  | ❹ | ❖ 来たる代議員選挙!             | ❶❺  |
| ❖ 所属紹介「三愛病院」  | ❻ | ❖ 第1回日本理学療法学会連合学術総会のご案内 | ❶❻  |
| ❖ 所属紹介「あいの里」  | ❽ | ❖ 外部団体派遣委員の紹介           | ❶❻❶ |
| ❖ 会員リレー紹介     | ❽ | ❖ 知読万恵                  | ❶❻❷ |
| ❖ 会員Baby大募集   | ❽ | ❖ 賛助会員                  | ❶❻❸ |
| ❖ 教えて! 生涯学習制度 | ❽ | ❖ 訃報・編集後記               | ❶❻❹ |
| ❖ 地域連携推進部の紹介  | ❽ |                         |     |

# メールアドレス ご登録のお願い



高知県理学療法士協会は、ペーパーレス化を推進の一環として、各種案内を会員の皆様にご登録いただいているメールアドレスへ送付しております。

まだメールアドレスを登録されていない方、現在使用されていないメールアドレスを登録されている方は、この機会に登録内容の確認・更新をお願いいたします。

- ・ 高知県理学療法士協会からの**重要なお知らせ**
- ・ 各種研修会・学会・イベント情報のご案内
- ・ 機関誌・広報誌 最新号のお知らせ  
など



## 登録はかんたん！ 4ステップ！



～日本理学療法士協会から～

①協会HPの「マイページログイン」をタップし、ログインIDとパスワードの入力しログイン！



②画面上上の「MENU」をタップし、「登録内容の変更・確認」をタップ！



③メールアドレス変更：  
「メールアドレスの変更」をタップ！  
メルマガの配信希望：  
「本人情報の確認・更新」をタップ！



④登録したいアドレスを入力し、受け取りたい情報にチェックを入れ登録完了！



○ご不明な点・登録に関するサポートを希望される方は事務局（jimukyoku@kopta.net）までご連絡ください。



## 巻頭言

## 『自分を大切にしていますか』



副会長 細田 里南

令和7年度より副会長を拝命いたしました、細田里南（高知大学医学部附属病院）と申します。令和5年度に初めて理事に就任してから、現・キャリア支援部の担当理事を務めるとともに、女性理事ということもあり、ワークライフバランス検討委員会（前身は四国女性理学療法士の会）の委員にも着任させていただいております。私自身、結婚・出産を経て、ワークライフバランスのとり方に悩みながら職務に従事してまいりました。そのような経験から、理学療法士の働き方や自己管理に強い関心を持っており、理事、そして副会長という立場からも、会員の皆様のお役に立てる取り組みを進めてまいりたいと考えております。

さて私たちが所属する日本理学療法士協会は、本年7月17日に設立60周年を迎えます。60年といえば、人に例えると還暦にあたります。還暦とは「暦が還る」と書くとおおり、生まれた年の干支に一巡して戻ること由来し、「人生の一区切り」や「再スタート」と捉えられることもあります。働き手という観点では、60歳は多くの企業で定年退職の年齢とされてきましたが、近年では定年延長や再雇用制度の導入が進んでいます。理学療法士においても働き方の多様化が進む中、より価値のある成果を社会に提供し長く働き続けていくためには、まずは私たち自身が心身ともに健康であることが不可欠であり、自己の健康管理に改めて目を向ける必要があるのではないのでしょうか。

理学療法士は、身体や生活、人生の一部に深く関わる専門職です。その一方で、患者さんの移乗介助等による身体的負担に加え、患者さんやご家族、さらには専門性の異なる多職種と協働する中で生じる心理的ストレスも少なくありません。多忙な業務や責任の重さの中で、自身の心身の健康を後回しにしてしまうこともあるのではないのでしょうか。私は、理学療法士における自己管理とは、単に体調を崩さないことにとどまらず、心の状態や働き方、さらには日常の生活も含めて、自分自身を大切にしながら専門職として歩み続けるための基盤であると考えています。

また近年では理学療法士が産業保健分野に参入し、「健康経営」の一翼を担う場面も増えてきています。実際に高知県理学療法士協会も企業への支援を行い、理学療法士の専門性を通じて、元気に働くことのできる職場づくりに貢献しています。産業保健に関わる知識や技術を、私たち自身の生活や働き方にも置き換えて活用していく視点が重要であると感じています。

最後になりますが、「自分を大切にすること」にしっかりと目を向けることで、私たち自身が長く生き生きと働くことができ、その結果として患者さんやご家族、さらには地域の方々への貢献もより大きなものになるのではないのでしょうか。多くの会員の皆様のご自身の心身の健康を守りながら専門職として歩み続けることが、これからの理学療法の発展につながると信じています。

## 山本双一先生の旭日双光章受章・ 宮本謙三先生の厚生労働大臣表彰受賞に寄せて

会長 大畑 剛

この度令和7年度秋の叙勲において、山本双一先生が旭日双光章を受章されました。また宮本謙三先生は、令和7年10月に開催された日本理学療法士協会設立60周年記念式典において、厚生労働大臣表彰を受賞されました。長年にわたり理学療法業界の発展に尽力されてきたご功績が高く評価され、今回の栄えある受章、受賞へと結実したものと存じます。会員を代表し、心よりお祝い申し上げます。

山本双一先生は、昭和46年3月に高知リハビリテーション学院をご卒業後、兵庫県内の病院勤務を経て、母校にて教鞭を執られました。以来45年以上にわたり学生指導に携わり、多くの理学療法士を育成してこられました。また、高知県理学療法士協会においても役員として献身的に活動され、会長8年、副会長26年を歴任されました。創成期から今日に至るまで、理学療法の普及と発展に寄与され、県民の医療・福祉の向上に多大な貢献をされました。現在は当協会事務長とし

てご活躍されております。

宮本先生は、昭和57年3月に高知医療学院をご卒業後、東大寺整肢園に入職され、奈良県心身障害者リハビリテーションセンター等での勤務を経て、平成5年4月に香南リハビリテーション大学校（現・土佐リハビリテーションカレッジ）に入職されました。平成22年6月には学校法人土佐リハビリテーションカレッジ校長に就任され、現在は高知健康科学大学教授として、後進の育成に尽力されています。高知県理学療法士会においては、平成15年6月からは理事として活動され、8年間会長として当協会の発展に大きく寄与されました。現在は当協会相談役としてご指導いただいております。

お二人の先生方には、今後とも本協会の歩みへの温かい見守りとご指導ご鞭撻いただければ幸いです。

この度の受章、受賞誠にありがとうございます。



旭日双光章受章・厚生労働大臣表彰受賞の様子

## 旭日双光章受章・厚生労働大臣表彰受賞記念祝賀会 ～山本双一先生・宮本謙三先生のご功績を称えて～

くぼかわ病院 東 大和生

1月10日土曜日、ザクラウンパレス新阪急高知にて、山本双一先生の旭日双光章受章ならびに宮本謙三先生の厚生労働大臣表彰受賞の記念祝賀会が執り行われました。

会場にはこれまで高知県理学療法士協会を支えてこられた元理事をはじめ、多くの会員が出席し盛大な会となりました。祝賀会の中で流れたお二人の歩みをまとめた映像は、生成AIが活用された斬新な企画でした。

旭日双光章（保健衛生功労）を受章された山本先生は、崖から滑降して距離を稼ぐ「始祖鳥」が、自由に飛び回れる鳥へと進化したことを理学療法の歴史に喩え、私たちに鳥（理学療法士）はすごい能力をもっているのだから活動・活躍の場を広げてほしいと述べられました。また厚生労働大臣表彰（理学療法業務功労）を受賞された宮本先生は、今回の山本先生の受章は高知県理学療法士協会が県に評価された結果だと述

べられるとともに、ご自身の受賞について、これまでの協会運営を支えてこられた関係者の皆様に感謝の意を表されました。

理学療法を心から愛し、後進の育成および理学療法の発展を推進してこられたお二人の先生に心より敬意を表します。私自身、協会運営や他団体との渉外活動など、理事としてあるべき姿勢をお二人の先生から学ぶことができたことは生涯の宝物です。

あらためまして、山本先生、宮本先生、この度は受章、受賞おめでとうございます。これからも高知県理学療法士協会を暖かく見守ってください（時には喝もお願いいたします）。

追記：家に帰って山本先生からのお土産を開けてびっくり、「シソッチ（始祖鳥）」のフィギュアが！回顧記集とともに大事に飾っておきます。



祝賀会の様子



# 所属 紹介

社会医療法人仁生会

三愛病院

リハビリテーション課

高橋 良昌



三愛病院のある高知市一宮地区には、「しなね様」の名で親しまれている古社土佐神社があります。この拝殿は国の重要文化財に指定されており、NHK大河ドラマ「龍馬伝」のロケ地となりました。この一帯は早くから開かれた土地であったとのことで、現在も一宮、西町、中町、東町等と別れたエリアは広く住宅地となっています。一宮地区は令和7年10月の統計では、人口は約24,000人、そのうちの72%が0～64歳までと比較的若い世代の多い地区となっています。大型スーパーが複数あって、市街地へは車で15分程度、バスやJRも利用しやすく高知自動車道高知ICが近いこともあり、生活に便利であることがその理由の1つでしょうか。

この地で三愛病院は社会医療法人仁生会細木病院を母体として創立され、令和7年に50年の節目を迎えました。仁生会グループ全体としては9つの施設があり、急性期、回復期、メンタルヘルスや障がい者支援施設まで、様々な医療、福祉を提供しています。その中の1つである当院は、障害者等施設一般病棟98床(うち地域包括病床10床)、介護医療院48床のケアミック

ス病院です。診療科は内科を中心に、循環器科、小児科、皮膚科など計10科があります。また三愛病院グループとして、老人保健施設あうん高知、デイケアファイト、デイサービスいろは、グループホームいろは丸、居宅介護支援事業所一宮、高知市布師田・一宮地域包括支援センターを有し、グループ全体で一宮地区の地域包括システムの一端を担っています。リハビリテーション課は外来、入院、訪問リハビリを提供しており、理学療法士7名、作業療法士4名、言語聴覚士3名、リハビリ助手1名の15名の部署です。年齢は30代から40代の中堅からベテランにかかる脂ののったスタッフで構成されており、それぞれが自分の得意分野を生かしながら業務に尽力しています。リハビリ室は3職種が共有して使用しているため、患者さんの情報を共有しやすくセラピスト同士のコミュニケーションの良好さにも繋がっているように思います。

入院患者さんは高齢者がその多くを占めており、長期療養や施設入所、在宅復帰と様々なゴールを目指しています。その中で私たちは様々なリハビリテーションの提供を求められることになります。運動機能面は

もちろんのこと、その方の既往歴やバックグラウンド、ご家族の考えなどを広く情報収集し、何がその方にとってのベストであるかを常に試行錯誤し続け、目標に掲げて対応することをモットーとしています。例えば食事動作1つにしてもリハビリ3職種が合同で取り組み、細かなライニングの角度や嚥下しやすい頸部の角度を設定することや、食器やスプーンへの工夫など、運動機能面・環境設定・嚥下を同時に検討することで効果的・効率的な対応を行っています。NST(栄養サポートチーム)にも3職種が加わりよりよい食





リハビリテーション室



ポジショニング写真



OT主催のクリスマス会

事形態の検討や、筋力増強のための食事内容の取り組みとして運動後にたんぱく質を摂取してもらうなどのアプローチを行っています。また他職種との協働を心がけており、ポジショニングに重点を置き病棟職員に分かりやすい写真や表示を行うことで再現性を高める、褥創委員会や部署内、院内での勉強会を開催し、適切なポジショニングの継続や最新の知見の共有をするなどを行い、褥創予防や拘縮進行予防に努めています。さらに言語聴覚士は耳鼻科医と協力しVF（嚥下造影検査）・VE（嚥下内視鏡検査）も積極的に行い、長らく経管栄養であった患者さんが、経口摂取ができるようになった例もあります。外来の整形外科を担当してくださっている高知大学附属医学部附属病院医師の紹介による術後の患者さんの入院もあり、医師と直接相談しながら実施でき、外来においても新しい術式で手術をされた患者さんの練習の内容や方向性に

ついて一緒に検討してくださり、とても勉強になりやりがいを感じています。

昨今国は「予防事業」を重要視しています。高知県は全国に先んじて高齢化や人口減少が著しいと言われる中、私たちも一宮地区の地域活動に参加しています。認知症カフェや老人クラブでの講義や運動教室、近隣の大型スーパーでの運動教室などを実施し、地域の介護予防に寄与しています。また地域の高齢者の生の声を聴くことで実際の生活での悩みや動作の不自由さ、転倒しやすい状況などを知ることでもできています。今後も予防の観点からリハビリテーションを重要視し、これまでの取り組みに加えさらなる知見や知識を深め、より一層貢献できるセラピストになれるよう各自努力を重ねていきます。そして患者さんからも地域からも「この病院でよかった」と思ってもらえる病院づくりを目指していきます。

コルセット・装具・義足・義手・杖

# 宮本義肢製作所

(社) 日本義肢協会 登録番号 中四国 143

代表者 門 脇 伸 仁

高知市土居町11-15 TEL & FAX (088) 833-6864

所	属
紹	介

介護老人保健施設  
あいの里

尾中 純大



介護老人保健施設あいの里（以下、当施設）は「地域やご家庭の結びつきを重視し明るく家庭的な雰囲気の中でリハビリテーション理念に基づいた諸サービスを提供する」事を運営方針としています。



介護老人保健施設とは、病院と在宅との間に位置する中間型施設で病状が安定期にあり在宅生活などを支援するリハビリテーションが必要な方に介護、看護、リハビリテーションを合わせて提供する施設です。

当施設は、南国中央病院を中心に介護老人保健施設やケアハウス、グループホームなど様々な社会資源を有しています。当施設を利用中の方でも、今後の方向性を考えていく中で様々な社会資源を提案し、利用者・ご家族が住み慣れた地域で安心して生活が送れるように支援できる体制を作っています。また理学療法士・作業療法士・言語聴覚士を配置し利用者一人一人に合ったリハビリテーションを提供しています。個別に行うリハビリテーション以外にも、セラピストが看護・介護職員と連携し、生活の中でもリハビリテ

ーションを実施しながら日々の業務に取り組んでいます。

通所リハビリテーションは要支援または要介護の要介護認定を受け、在宅で生活をされており「通い」でのリハビリテーションや入浴・食事・レクリエーションなどのサービスを希望されている方が対象になります。朝から夕方までのご利用で、香南市だけでなく南国市や芸西村などへも送迎を行っています。リハビリ職員を中心として個別リハビリや集団体操を実施しており、香南市の中で唯一、要支援の方の「個別リハビリ十入浴サービス」が実施できることが特色です。浴室には大浴場・特別浴室があり利用者様のニーズに合わせて利用することができ、大浴場からは太平洋が一望でき景色も楽しみながら入浴する事ができます。





訪問リハビリテーションは理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がご自宅を訪問し、心身機能の維持・回復、日常生活の自立を支援します。また介護をするご家族へのアドバイス、相談も行っています。

入所はご利用者、ご家族が安心して生活できるように、グループ内外の様々な社会資源と連携しています。また医学的管理のもとにリハビリテーションを行いながら在宅復帰を推進し、緊急の入所・ショートステイにも随時対応しています。リハビリテーション部には3職種に加え歯科衛生士が所属しています。ご利用者に対してトイレ・食事・更衣・整容などの日常生活動作練習、歩行・起居動作練習、そして言語練習・嚥下練習、歯科衛生士を中心に口腔衛生管理も実施し

ています。また在宅復帰支援を強化する為に「在宅生活」を想定した日常生活動作や基本動作練習を行う、短期集中個別リハビリテーションにも取り組んでいます。短期集中個別リハビリテーションは病院から在宅復帰を目指す方、在宅での生活機能が低下したため1～3か月の入所期間で生活機能の改善を目指す方を対象としています。その他にもスタッフとの健康体操・棟外散歩、パワーリハビリも実施しています。ご利用される方が生きがいへと結びつくようなレクリエーションの提供や「認知症予防」、「趣味活動の発見・再獲得」を目的としてスタッフの指導のもと、折り紙、塗り絵、絵手紙、間違い探し、計算問題、漢字問題などの作業活動も楽しんでいます。



今年は入所の方と一緒に「香南市チューリップ祭」の為に球根を植えました

## 会員リレー紹介

### 内田脳神経外科病院 竹政 亮汰

皆さんこんにちは。高知医療学院の同期でもあり同グループで働いている市川和史さんよりバトンを受け取りました、竹政亮汰と申します。

私は理学療法士として勤務してから9年目となり、現在は内田脳神経外科に所属し、神経疾患患者の機能回復および生活再建に資するリハビリテーション業務に尽力しています。近年では、医療現場における身体介助の在り方を再考し、介助者・被介助者双方の負担軽減と安全性向上を目的とした「ノーリフティングケア」の推進に深く関与しています。従来の徒手的な持ち上げ動作に依存する介助から脱却し、福祉用具の適正活用や環境設定の最適化を通じて、自立支援の深化と職員の労働負荷の緩和を図ることは、現代医療における重要課題であり、私自身もその理念の浸透に寄与するべく日々研鑽を重ねています。こうした取り組みは、単に作業効率を高めるのみならず、ケアの質の向上や持続可能な職場環境の構築にも直結するものであり、その意義を実務の中で強く実感しています。

私生活においては昨年第三子が誕生し、家庭内では育児に勤しむ日々を送っています。三児の父としての責務は決して軽いものではありませんが、子どもたちの成長を見守る喜びは何ものにも代えがたいものがあります。育児と業務の両立は多忙を極める一方で、自己の視野を広げ、対人支援職としての洞察を深化させる契機にもなっていると感じています。今後も医療専門職としての職責を全うするとともに、家庭を支える一個人としても精進し、不断の向上を目指していきたいと思っております。



次は同部署の先輩で大変お世話になっている高橋浩輔さんにバトンを繋ぎます。よろしくお願いいたします。

次は同部署の先輩で大変お世話になっている高橋浩輔さんにバトンを繋ぎます。よろしくお願いいたします。

### 高知医療学院 園田 義顕

今回愛宕病院分院の前田慎太郎さんよりバトンを受け取りました高知医療学院の園田義顕です。

皆さん「春」は好きですか？私にとって春は、その香りや穏やかな気候、年度替わりの様々な変化、新しい顔との出会いなど、何とも言い難い妙な落ち着きのなさを含みながら、ワクワク感もあり好きな季節です。2011年、当時30歳の春、私はイタリア・フィレンツェのウフィツィ美術館にてボッティチェリの『春（プリマヴェーラ／1482年）』の前に立っていました。Primavera（プリマヴェーラ）は「春」を表すイタリア語ですが、ボッティチェリの「春」はとても華やかな作品であると同時に、誰がどこを見ているか、どんな位置関係にいるか、何をしようとしているかと考えながら見ていると、つい長い間足を止められてしまう不思議な絵です。春の訪れの喜び以外にも精神的・肉体的な愛や豊潤、再生など多様な解釈がなされており、一度はその目で見るとをオススメしたい世界的に有名な作品です。話が長くなりそうなので強制終了したいと思いますが、写真は



その時にトスカーナのかなり田舎の方にあるヴィンチ村からさらに北のアンキアーノで撮ったもので、オリーブの木々に囲まれた小道の奥に見えているのはレオナルド・ダ・ヴィンチの生家です。紙面の都合があるのでその話はまたどこかで。最後に、今年は2008年からの教員生活で当たり前前に繰り返してきた出会いのある春、「ではない春」をはじめて迎えます。新入生のいない未知の春です。寂しさ以外にもこの「春」に、多様な解釈ができるようにしていきたいと思っています。

次は近森病院の芝実遥さんにバトンを渡します。芝先生よろしく！

# あなたの 赤ちゃんの写真 大募集



お名前の由来を  
教えてください！

出産・育児エピソード募集中！

高知県理学療法士協会ニュースに掲載されます！  
掲載された方には…

**掲載謝礼**

**登録PT更新ポイント**  
を進呈します



応募はこちらまで

**高知県理学療法士協会広報誌部**

e-mail: [kouhou@kopta.net](mailto:kouhou@kopta.net)

# 教えて！生涯学習制度

## ～専門理学療法士取得編～



生涯学習部長 奥田 教宏

前は、認定理学療法士の取得方法についてお知らせしました。今回は専門理学療法士の取得についてお知らせします。

まず専門理学療法士を申請するにあたっては、以下の要件があります（論文業績以外は履修日から5年間有効）。

- ① 指定研修カリキュラムの受講  
（全分野・認定専門共通）
- ② ブロック学会の参加
- ③ 都道府県士会学会の参加
- ④ 日本理学療法学会連合内の会員団体が主催の学術大会での発表
- ⑤ 査読付き原著論文業績



図1 専門理学療法士の取得方法(日本理学療法士協会HPより引用)

上記、専門理学療法士の取得方法(図1)を参考に以下の①～⑨を実施してください。

### ① 指定研修カリキュラムを受講する

日本理学療法士協会（以下、日理協）の指定研修カリキュラムをeラーニングで受講します。12コマ（1コマ90分）を同年度内に全てのコマの履修が必要です（<https://x.gd/4eZ1C>）。この指定研修カリキュラムは全分野共通のため、複数の分野を申請の場合も1回の受講で大丈夫です。申請する日までにマイページに履修登録が完了している必要があります（反映目安：修了後2～3日）。

有効期限は履修日から5年間です。

### ② ブロック学会に参加する

ブロック主催（北海道ブロック、東北ブロック、関東甲信越ブロック、東海北陸ブロック、近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロック、九州ブロック）の学術大会への参加を要件とします（発表は必須ではありません）。申請する日までにマイページに履修登録が完了している必要があります（学会によっては、マイページの反映に数か月かかる場合もあるため、注意が必要）。

有効期限は履修日から5年間です。

### ③ 都道府県士会学会に参加する

都道府県士会主催の学術大会への参加を要件とします（発表は必須ではありません）。申請する日までにマイページに履修登録が完了している必要があります（マイページ反映に数か月かかる場合もあるため、注意が必要）。

有効期限は履修日から5年間です。

#### ④ 日本理学療法学会連合の会員団体が主催の学術大会で発表する

本理学療法学会連合の会員団体が主催の学術大会での発表を要件とします（筆頭演者のみ対象で、共同演者は対象外）。発表の種別（口述・ポスター）や分野に即した内容かどうかは問いません。申請する日までにマイページに履修登録が完了している必要があります（マイページ反映に数か月かかる場合もあるため、注意が必要）。

有効期限は履修日から5年間です。

#### ⑤ 査読付き原著論文を提出する

点数基準表における日理協が指定する英文雑誌A、英文雑誌B、和文雑誌に、日理協が認める期間に採択もしくは掲載されたものが対象となります。査読がある原著論文のみ対象（システマティックレビューは、その他のカテゴリーのため対象外）。申請日までにマイページへ登録が完了している必要があります。専門理学療法士（新規）の申請要件として使用する場合は、自身にてマイページから対象論文を登録申請して下さい（日理協が申請内容を承認後、マイページへ反映されます）。口頭試問の際の試問に含まれるので、申請する分野に即した論文内容となります。登録理学療法士取得前の採択、もしくは発行された論文でも、協会が定める有効期間に含まれている雑誌であれば、いつの業績であっても申請要件として使用可能です。

#### ⑥ マイページから申請する

申請時期は、例年8月1日～8月31日です。申請要件を満たすと、マイページより申請が可能となります。

#### ⑦ ショーケースポートフォリオを提出する

取り上げる事例は自らの活動状況を反映し、かつ理学療法士としての専門的動向を踏まえた内容です。ショーケースポートフォリオの事例は、当該専門分野における以下の内容として、いずれか一つを提出します。

1. 理学療法を効率よく実践するための知識と技術を示す事例

例) 当該分野の理学療法の実践例、同様な症例を複数集めた検討例、地域に介入した事例など。

2. 理学療法学としてより学問的発展を倫理的かつ科学的に実践できる能力を示す事例

例) 当該分野の研究成果、教育活動を示すものなど。

申請する専門分野に則した事例が必要であり、指定の書式を用いて報告をします。記載フォーマット (<https://x.gd/ZRoNN>)、記載例 (<https://x.gd/oRuxJ>) です。

その他、注意事項がありますので、詳細は協会HPよりご確認ください。

#### ⑧ 申請料の支払い

一分野10,000円（税別）

同時に最大3分野まで申請することが可能です。

#### ⑨ 口頭試問

申請後、当該年度の12月頃に口頭試問が行われます（2～4都市にて対面で実施予定）。2名の口頭試問官による質疑が行われます。口頭試問では、提出したショーケースポートフォリオと論文の内容に基づいて、理学療法学として学問的発展を倫理的かつ科学的に実践できる能力が問われます（10分以内の発表、30分程度の質疑）。

#### ⑩ 合格通知

専門理学療法士取得方法の詳細は、日本理学療法士協会HP (<https://x.gd/o1XP9>) をご覧ください。

新設

## 地域連携推進部の紹介

地域連携推進部長 徳弘 健



地域連携推進部は、理学療法士の力を地域社会のさまざまな分野へ広げ、県民の健康を支えることを目的に活動している部門です。

部内には、イベント課・学校保健課・災害支援課・産業保健課・地域支援課の5つの課があり、それぞれの専門性を活かした活動を展開しています。

## イベント課

課長：小松 弘典

イベント課は、昨年度まで旧保健部が行なってきた対外的な啓発活動を引き継ぎながら、より幅広い形で協会活動を展開しています。

本課は、理学療法士の専門性や社会的役割を県民に広く発信するとともに、高知県民一人ひとりが生涯を通じて健康で自立した生活を送ることができるよう支援することを目的として活動しています。主な活動としては、「理学療法週間イベント」や「ふくしフェア」への参加を通じて、身体機能や運動に関する簡単なチェック、健康相談、セルフケアや運動指導などがあります。これらのイベントを通じて、県民が自身の身体や健康について関心を持つきっかけを提供し、疾病予防や介護予防につながることを目指しています。

2025年度の「理学療法週間イベント」に県民100名が参加、さらに「ふくしフェア」では、200名を超える県民の参加があり、理学療法士が地域における健康づくりの専門職として、医療・介護・福祉の枠を超えて活動していることを知っていただく大切な機会を得られました。

また本課の活動は、県民への情報発信に加え、協会員同士のつながりを深める場としての役割も担っています。分野や経験年数の異なる理学療法士が協力してイベントを作り上げることで、普段の業務では得られない学びや気づき生まれ、互いに刺激を受けながら活動することができます。今後も、地域のニーズに寄り添ったイベントを企画し、高知県民の健康を支える理学療法士の存在をより身近に感じていただけるよう取り組んでまいります。

## 学校保健課

課長：重島 晃史

学校保健課は、理学療法士の専門性を学校や地域の子どもの健康づくりに活かすことを目的として設立されました。将来的に学校保健分野へ継続的に関わっていくことを見据え、基盤づくりや体制整備を少しずつ進めています。

高知県理学療法士協会からは、2024年度に2名、2025年度にはさらに3名の新たな認定スクールトレーナーが誕生し、2026年から段階的に学校現場や地域へ活動を広げていく構想を描いています。主な取り組みは、「スクールトレーナー活動」と「学校・PTA・部活動などを対象とした研修会における講師協力者の拡大・育成および派遣」です。スクールトレーナー活動では、成長期特有の身体の変化や運動器の特徴を踏まえ、ケガの予防や運動障害の早期発見、安心して運動に取り組める環境づくりを理学療法士の視点から支援していきます。

また研修会活動では、教職員、保護者、指導者の方々に向けて、正しい身体の使い方や運動器の健康管理に関する知識をわかりやすく伝える機会を増やしていく予定です。本課は、学校保健に関心を持つ理学療法士同士がつながり、無理のない形で継続的に関わりを広げていける場となることを目指しています。

## 災害支援課

課長：森下 誠也

災害支援課では、南海トラフ地震をはじめとする大規模災害に備え、理学療法士が地域や被災された方々を支えるための体制づくりに取り組んでいます。災害はいつ起こるかわからないからこそ、日頃からの準備とつながりが、現場での支援の質を左右すると考えています。

本課では、KORAT（高知県災害リハビリテーション連絡協議会）や県内各ブロック部との連携を活動の大きな柱とし、平時から顔の見える関係づくりや情報共有を大切にしています。普段からの交流や情報交換が、災害時のスムーズな連携や迅速な行動につながります。災害時、理学療法士には生活不活発病の予防や、避難所・仮設住宅での生活環境の調整など、幅広い役割が求められます。身体機能への支援だけでなく、被災された方の「生活を支える」視点が、私たち専門職には欠かせません。

本課では、災害リハビリテーションに関する知識や技術を学ぶ研修会・訓練を企画し、現場で状況を判断し行動できる理学療法士の育成と、支援体制の強化に取り組んでいます。さらに2026年度には、JRATに関する説明動画や、災害支援でよく使われる用語の解説文書を作成し、災害支援に初めて関わる方にも分かりやすい情報提供を進めていく予定です。これらの活動を通じて、災害発生時に組織的で継続的な支援が行える体制を整えるとともに、会員一人ひとりの防災意識と専門性の向上を目指しています。

## 産業保健課

課長：徳弘 郁絵

産業保健課では、働く世代の健康を理学療法士の専門性から支え、職域における新たな活躍の場を広げていくことを目的に活動しています。医療や介護の現場で培ってきた知識や経験を、職場というフィールドでも生かしていけるよう、さまざまな取り組みを進めています。

本課では、「産業保健に関わる人材の確保と育成」を活動の大きな柱としています。作業姿勢や動作の分析、職場での運動指導、腰痛や肩こりといった職業性障害への予防的な関わりなど、理学療法士ならではの視点で支援できる人材の育成に力を入れています。日々の臨床で感じている“予防の大切さ”を、産業現場で実践できる点も、この分野の魅力です。

近年、健康経営や労働災害防止への関心が高まる中、産業現場における理学療法士の役割は着実に増大しています。本課では、高知県産業保健総合支援センターと連携し、医師や保健師、衛生管理者など多職種と協働しながら、地域の特性に即した産業保健活動を推進しています。2025年度には、高知県下数カ所で活動を行い、現場のニーズに応じた支援を実践してきました。これらの活動を通して、理学療法士が医療・介護分野にとどまらず、職域や地域社会へ専門性を還元できる体制づくりを目指しています。

## 地域支援課

課長：江淵 聡

地域支援課では、理学療法士の専門性を活かして県内の介護予防や健康づくりを支えていくことを目的に活動しています。高知県は全国に15年先行して人口自然減となり、高齢化率は36.6%（2024年、全国2位）となっています。今後、総人口も減少することから2050年には高齢化率は約45%と、県民のおよそ半数が高齢者になると言われています。このような背景から、地域での介護予防・健康増進の取り組みの必要性はますます高まっています。

介護予防活動・健康づくりとして、「いきいき百歳体操」や「シルバーリハビリ体操」の普及に取り組むことで、転倒予防や筋力維持につながるだけでなく、参加者同士の交流や地域づくりにも寄与しています。住み慣れた地域でその人らしくいきいきと暮らしていくことを目指して地域で無理なく継続できるよう、指導者の育成や各地域への派遣にも力を入れていく予定です。

また能登半島地震では、「シルバーリハビリ体操」が避難所で活用され、限られたスペースでも行われていたと報告されています。災害時でも介護予防活動がそのまま地域支援につながる可能性が示され、現在日本理学療法士協会としても「シルバーリハビリ体操」の普及と活動支援に力を入れています。

本課では、体操の実施だけでなく、運動機能の評価視点や安全管理及び対象者に応じた声かけや負荷設定など、理学療法士ならではの専門性を活かした支援を大切にしています。地域住民や行政、他職種と連携しながら活動することで、理学療法士自身が地域に出て、学び、成長できる機会になることを目指しています。

## モルック&バーベキュー交流会を終えて

厚生部長 江口 智博

令和7年10月26日（日）、厚生部の主催で「モルック&バーベキュー交流会」を開催しました。近年、厚生部の事業は新年会や新人歓迎会が中心となっており、秋季に交流会を実施するのは久しぶりの試みでしたが、今年度は新たな取り組みとして本交流会を企画、開催することができました。

開催にあたっては、週間天気予報で雨予報と晴天予報が交互に出るなど天候が読めず、運営側としては気を揉む日々でした。しかし当日は一時的に雨が降る時間帯もあったものの、概ね晴天に恵まれ無事に実施することができ、安堵しました。

今回の交流会は、近年の学会や研修会と同様に、会員のみならずお子様連れでの参加も可能としました。お子様5名を含む25名のお申し込みをいただき、残念ながら当日参加できなかった方もいましたが和やかな雰囲気の中で交流が始まりました。

交流会の前半は、フィンランド発祥のスポーツ「モルック」を行いました。木の棒を投げて数字の書かれたピンを倒し得点を競う、シンプルなルールながら戦略性も高いスポーツで、老若男女問わず楽しめるのが魅力です。倒れたピンがその場に再配置されるため、回を重ねるごとに難易度が上がり、50点ちょうどを目指す駆け引きに、各チームとも一喜一憂しながら大い

に盛り上がりました。全5チームによる総当たり戦の結果、同率首位が3チームとなる大混戦となり優勝決定戦の末、愛宕病院チームが優勝、田中整形外科病院チームが準優勝となりました。

身体を動かした後は、ノンアルコールで乾杯しバーベキュー交流会を行いました。今回は「満腹四国」様に出張バーベキューを依頼し、準備の手間なく食事を楽しむことができました。優勝・準優勝チームには景品として土佐あかうしが贈られ、惜しくも敗れたチームにも少量ながら高級肉が振る舞われるなど、参加者全員笑顔のあふれる交流の場となりました。

本交流会を通じて改めて感じたのは、人と人とのつながりの大切さです。情報が容易に得られる時代だからこそ顔の見える関係性を築く機会は貴重であり、県内で働く仲間を知るきっかけとして、継続してこのような交流の場を設けていきたいと考えています。今後も皆で力を合わせ、高知県の理学療法を盛り上げていきましょう。

当日はお子様連れでのご参加も含め、皆さまのご理解とご協力により、終始和やかな交流の場となりました。ご参加ならびにご協力いただいたすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。





## 高知県理学療法士連盟だより



高知県理学療法士連盟 会長 東 大和生

### 理学療法士連盟の組織力強化について

11月に開催された四国理学療法士学会の会期中、「四国ブロック理学療法士連盟連絡会議」が行われました。日本理学療法士連盟から南出副会長、石川企画局長を迎え、四国4県の連盟・協会代表者が集まり、日本理学療法士連盟と都道府県連盟との「共同誓約書」について議論を交わしました。この誓約書は、組織力強化のために「各都道府県士会会員の2%を地区幹事として組織化する」というものです。高知県理学療法士協会の会員数は約1,600名のため、約30名を地区幹事として任命することになります。四国4県からは「誓約書という形式が本当に必要か」という慎重な意見が相次ぎ、四国ブロックとしては「現時点では承諾できない」との立場で決議しました。しかし12月の中央役員会にて本案は賛成多数で可決され、今後、高知県理学療法士協会からの地区幹事の選出をお願いすることになります。

さて先の参議院議員選挙において、残念ながら私たちの組織代表を当選させることは叶いませんでした。現在、組織代表として活動しているのは小川かつみ議員ただ一人です。小川かつみ議員が所属する「リハビリテーションを考える議員連盟」には、現在180名もの国会議員が所属しています。これは数ある議員連盟(以下、議連)の中でも非常に大きな議連であり、リハビリテーションの重要性に対する国政の関心の高さを示しています。

この議連の活動により、今、長年変わらなかった現状を変える大きなチャンスが訪れています。60年間手

付かずだった「資格法」の改正案、厚生労働省内への「リハビリテーション課」設置案、理学療法士1名あたり約2万円を目安とした賃金アップ案、基本報酬の見直し案などです。これらは現在、国会レベルで具体的な調整が進められています。私たちの声を国政に反映させるためには、代弁者である国会議員の存在が不可欠です。

しかし危機的な現状もあります。2016年から2025年にかけて会員数は4万人以上増加していますが、反比例するように組織代表候補者の得票数は4万票以上も減少しているのです。このままでは、「リハビリテーション職は一体感や危機感が欠如しているのではないか」と評価されかねません。

リハビリテーションを必要とする国民のため、そして自分たちの職能と処遇を守るために、小川かつみ議員をはじめ多くの国会議員が汗を流している今、私たちは傍観していて良いのでしょうか。政治への関心を持ち、組織の代表を応援することは、理学療法士が誇りを持って働ける未来を作ることにつながります。

日々の臨床での研鑽に加え、政治活動の重要性についても深くご理解いただき、地区幹事の選出を含め、皆様のご支援を心よりお願い申し上げます

#### 追記

2月の衆議院選挙にて田中まさし先生が比例区(東京)で当選されました。田中先生おめでとうございます。



## 災害時の理学療法士の役割

地域連携推進部災害支援課長 森下 誠也

2011年の東日本大震災以降、多くの自然災害が日本各地で発生し、それに伴い多くの災害支援に関わる団体が活動しています。

医療支援活動において、DMATや日赤救護班、JMATといった医療支援チームが活動していますが、この中に業務調整員という役割があります。医療支援チームに所属する理学療法士は業務調整員となり、金銭も含めた物資管理や活動に必要な情報管理まで、医療活動以外のすべての業務を担当します。またJRATにおいては業務調整員の役割に加え避難所の環境調整や被災者への動作支援など、本来の理学療法士としての専門性を活かした現場活動が求められます。

一方南海トラフ地震の影響が大きいとされる高知県においては、自施設が被災するという可能性も考える必要があります。これに対する備えとしてBCP（事業継続計画）や災害マニュアルが作成されています。発災時は患者、利用者、職員に対する安全管理や、自施設の機能維持・回復の優先度が高くなることが考えられます。また医師や看護師は医療行為ができる貴重な資源であるため、日常のバイタル測定や介護業務などリハビリスタッフが代替できる業務を検討し、共有することが必要となります。

災害はいつ起きるかわからないため、緊急時にどれだけ落ち着いて行動できるか、平時からの個人および部署としての備えがカギとなります。個人としては災害研修や災害訓練に参加し、災害に関する知識、技術の習得が必要です。部署としてはBCP・災害マニュアルの周知を行い、可能であればBCPや災害マニュアルに沿った災害訓練を実施することが必要です。訓練を実施する際は、すべての項目を一度に実施することが時間的に難しい場合も多いため、項目ごとに分けての実施や、停電や台風などの比較的被害の少ない緊急時に、訓練として実施してみることもできます。そして実施した際には必ず振り返りを行い、BCPや災害マニュアルを適宜更新することが大切です。

最後に、高知県内では当協会災害支援課、KORAT（高知JRAT）、DMATなど様々な団体が災害研修を実施しています。興味のある方はご連絡ください。



# 来たる代議員選挙！

広報誌部 竹内 友哉

今年は、2026・2027年度の日本理学療法士協会代議員選挙が実施されます。投票期間は2026年2月24日から3月10日正午までです。本稿では、会員の皆さまに代議員選挙をより身近に感じていただけるよう、「代議員制」および「代議員選挙」の概要についてあらためてまとめました。

## 1. 代議員制とは

日本理学療法士協会のように会員数が非常に多い団体では、すべての会員が一堂に会して総会を開催し、議論や議決を行うことは物理的・技術的に困難です。そのため、一定の地域ごとに会員の代表として代議員を選出し、その代議員によって構成される総会で意思決定を行う仕組みが採用されています。これが「代議員制」です。

代議員の主な役割は、①総会における議決権の行使、②役員候補選挙での投票の2点です。代議員は、全国の会員を代表して総会に出席し、日本理学療法士協会の将来に関わる重要事項について審議・議決を行うとともに、協会役員の選出にも関わる重要な役割を担っています。

たとえば現在、日本理学療法士協会には10万人を超える会員がありますが、全員が総会に集まることは現実的ではありません。そのため各都道府県を単位とした区域から一定数の代議員が選出され、高知県からも選出された代議員が会員の代表として全国総会に参加します。

### 【代議員の具体的な活動】

- ・協会の事業計画や予算案について内容を確認し、賛成・反対の意思表示を行う
- ・会費や制度の変更など、会員に大きく関わる議案の審議に参加する
- ・協会役員の選挙において投票を行い、執行部の選出に関わる
- ・総会前後に、地域の会員の意見や要望を聞き取り、意思決定の参考にする

このように代議員は、高知県をはじめ各地域の会員の声を全国総会に届け、協会運営の方向性を決める重要な橋渡し役として活動しています。

## 2. 代議員選挙とは

代議員選挙とは、会員数に応じて定められた定数に基づき、立候補した会員の中から一般会員の投票によって代議員を選出する選挙です。代議員には任期が設定されているため、一定の期間ごとに選挙が実施されます。代議員の定数は都道府県ごとの会員数に応じて決まり、高知県の定数は代議員3名、補欠代議員2名となっています。また、任期は2年間です。（2025年度の代議員については図を参照。最新の代議員名簿は日本理学療法士協会ホームページをご参照ください。）

立候補および投票は、日本理学療法士協会のマイページ内にある選挙サイトから行います。立候補者が定数を超えた場合には選挙が行われ、同ページにてオンライン投票が実施されます。得票数の多い順に定数までの候補者が代議員として選出され、定数を超えた順位の候補者は補欠代議員となります。これは、代議員に任期途中で欠員が生じた場合に備えるためであり、補欠代議員から繰り上げて対応できる仕組みとなっています。なお、立候補者数が定数に満たない場合は、その人数分が無投票当選となり、不足する定数分については各都道府県理学療法士会の理事会において推薦が行われます。

今回、本稿では「代議員制」「代議員選挙」についてご紹介しました。日本理学療法士協会の運営や活動は、私たち一人ひとりの会員とも深く関わっています。代議員を選出することを通じて、私たちは協会の将来に向けた意思表示を行うことができます。今回の記事をきっかけに代議員選挙に関心を持っていただき、投票を通じて日本理学療法士協会の活動に積極的に参加していただければ幸いです。



# 第1回 日本理学療法学会連合学術総会のご案内



## 【プログラムの概要】

- ① 大会長基調講演
- ② 理学療法学会賞受賞記念講演
- ③ 統合企画（特別講演 1・2）
- ④ 統合企画（特別企画シンポジウム 1~2）
- ⑤ 統合企画（総合シンポジウム）
- ⑥ 合同企画シンポジウム（合同企画シンポジウム 1~20）
- ⑦ 学会企画講演（学会企画講演 1~80）
- ⑧ ライブデモンストレーション

詳しくは公式 HP をチェック！



日本理学療法学会連合には以下の法人学会・研究会が設立されています。

<p>日本栄養・嚥下理学療法学会          日本地域理学療法学会          日本基礎理学療法学会          日本神経理学療法学会          日本がん・リンパ浮腫理学療法学会          日本予防理学療法学会          日本運動器理学療法学会          日本呼吸理学療法学会          日本スポーツ理学療法学会          日本理学療法管理学会          日本循環器理学療法学会</p>	<p>日本ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法学会          日本糖尿病理学療法学会          日本支援工理学療法学会          日本小児理学療法学会          日本精神・心理領域理学療法学会          日本理学療法教育学会          日本物理療法研究会          日本筋骨格系徒手理学療法研究会          日本産業理学療法研究会</p> <p>詳しくはコチラをチェック➡</p> 
--	---

福祉用具のことなら、弊社福祉用具専門相談員へご相談ください。

事業所番号：3970104919



株式会社 **トーカイ** 高知営業所

高知県高知市南久保14-10

<https://www.tokai-corp.com/>

TEL 088-885-6511  
FAX 088-885-5943

## 外部団体派遣委員の紹介

高知県がん対策推進協議会委員	明崎 禎輝 (部長・課長)
高知県高齢者保健福祉推進委員会 委員	大畑 剛 (会 長)
高知県高次脳機能障害支援委員会 委員	
高知県循環器病対策推進協議会 委員	
高知市高齢者保健福祉計画推進協議会 委員	
高知県地域医療構想調整会議委員	西村 敦司 (会 員)
高知市在宅医療・介護連携推進委員会 委員	
高知県社会福祉協議会 評議員	八坂 一彦 (副会長)
高知県災害リハビリテーション連絡協議会 理事	
高知県介護保険審査会 公益代表委員	東 大和生 (理 事)
高知県介護支援専門員研修等向上委員会	森下 誠也 (課 長)
高知県介護支援専門員法定研修検討ワーキンググループ	
高知県介護支援専門員法定研修検討ワーキンググループ	和田 讓 (理 事)
高知県在宅緩和ケア推進委員会 委員	
高知県スポーツ協会スポーツ医・科学委員会 委員	
高知市介護認定審査会 委員	前岡 修二 (会 員)
高知市介護認定審査会 委員	木下 雄介 (部 長)
高知市介護認定審査会 委員	田中健太郎 (会 員)

当協会では、各種団体からの委員派遣依頼を受け、理事会の推薦により選出された会員が、県協会の代表として各委員会や協議会に参加しています。

みんなが暮らしやすい住環境提案  
リフォーム&福祉用具



🌐 <https://aico.tosagas.co.jp/>



**aico**

[あいこ]

★ 土佐ガス株式会社

● 朝倉  
☎ 088-828-8580

📍 高知市朝倉西町1丁目10-16  
🕒 月曜～金曜 9:00～17:30 (祝日・年末年始を除く)

● しまんと  
☎ 0880-35-4372

📍 四万十市古津賀1丁目139  
🕒 月曜～金曜 9:00～17:30 (祝日・年末年始を除く)



## 「喫茶店文学傑作選」

〈編者 林 哲夫 著 中公文庫出版 2023〉



高知県は人口あたりの喫茶店の数がトップクラス。諸説ありますが、「はちきん」女性たちの行動力や、特定の料理に特化せず様々なメニューが提供でき人口が少なくても経営しやすかった、早朝から働く人たちにボリュームのあるモーニングを提供できた、コミュニケーションツールの場として発展した、という背景があるようです。日本全国に目を移してみますと、日本で初めての本格的な喫茶店は明治22年に上野で開業した「可否茶館」（かひさかん）だと言われています。他にも明治7年には神戸で日本茶の老舗店がコーヒーを提供していたとか、文久3年に横浜で開業した喫茶店があったとか、古い記録も残っているようです。いずれにしても明治時代、各地で「喫茶文化」が花開いたことに間違いありません。当時の喫茶店は、コーヒーを飲みながら知識を吸収できる場所、文化交流の場所として、著名人や文化人、文豪などが多く訪れ、大変賑わっていました。

さて現存する日本最古の喫茶店はというと、明治44年に銀座で開業した「カフェー・パウリスタ」です。関東大震災で一度全壊したものの、昭和45年に再オープンしました。著名な文豪たちが常連だったことでも知られ、芥川龍之介、菊池寛、与謝野晶子、森鷗外など錚々たるメンバーが通っていました。現在でも当時の歴史を感じさせる雰囲気を楽しめるそうです。

本書からはこの「カフェー・パウリスタ」をはじめ、学生街のミルクホール、資生堂のソーダファウンテンや台湾喫茶での烏龍茶、ブラジルコーヒーなど、当時の最新流行が見えてきます。さらには、蓄音機でクラシックやジャズをいち早く聴かせ、若者たちの歌声を響かせ、テレビや電話が登場すればすぐに設置し、テレビゲームや漫画を楽しむ…といった、喫茶店の新しい物好き一面も見えてきます。ちなみに私は聞いたことのない言葉、ミルクホール？ソーダファウンテン？なんて聞くとワクワクしてしまい、早速調べ

てみるとなるほど、最新流行でした。最近ではインターネットカフェやおしゃれな全国チェーンのカフェ、インスタ映えするスイーツなどもお目見えし、喫茶店は常に時代の最先端！と実感できますが、ソーダファウンテン、調べてみてください、現在に負けず劣らずの最新流行です（笑）。

話を本書に戻しまして…、編者が「本書では喫茶店が描かれていることはもちろん、文学として上質であることを大前提として選んだ」と解説している通り、二十八篇の短編小説やエッセイが選び抜かれています。作品は明治から平成に至る日本の喫茶店の変遷が伝わるように配置されており、日本の「喫茶文化」「喫茶店文学」が時系列で分かるのも興味深いところです。喫茶店の情景、そこで起こった出来事や会話、それこそ取るに足りないことまでもが描かれている作品たち。そこからは作者の感性や、喫茶店に対する感じ方や見方の違いも感じることができ、楽しく読み進めることができます。裏表紙にある、「一杯のコーヒーのように薫り高く味わい深い作品集」とは言い得て妙、ぜひコーヒー片手に日本の「喫茶文化」に触れてみてください。いつの時代も、喫茶店と文学は相性抜群です。

(池上 美保代)



## 賛助会員の皆様

令和7年度賛助会員名簿

施設名	住 所	診療科・他
(医)白菊会 白菊園病院	781-1154 土佐市新居萩の里1 TEL 088-856-1101 FAX 088-856-3364	内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、 外科、整形外科、脳神経外科、消化器外科、 小児科、リハビリテーション科
(学)土佐リハ学院 高知健康科学大学	〒781-5103 高知市大津乙2500-2 TEL 088-866-6119 FAX 088-866-6120	理学療法学専攻/作業療法学専攻
(医)瑞洋会 田中整形外科病院	〒780-0901 高知市上町3丁目2-6 TEL 088-822-7660 FAX 088-875-8583	整形外科、リハビリテーション科、麻酔科、 ペインクリニック内科、リウマチ科、内科(病棟)
(社医)仁生会 細木病院	〒780-8535 高知市大膳町37 TEL 088-822-7211 FAX 088-825-0909	総合診療科、内科、外科、整形外科、小児科、 耳鼻咽喉科、緩和ケア科、放射線科、泌尿器科、 脳神経センター(脳神経外科)、専門外来、 セカンドオピニオン外来、病理診断科、麻酔科
(医)五月会 須崎くろしお病院	〒785-0036 須崎市緑町4-30 TEL 088-943-2121 FAX 088-842-1582	内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科、 眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、リハビリ テーション科、放射線科、麻酔科、人間ドック
(医)新松田会 愛宕病院	〒780-0051 高知市愛宕町1-1-13 TEL 088-823-3301 FAX 088-823-3306	内科、外科、整形外科、脊椎外科、脳神経外科、 婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、 心療内科・精神科、皮膚科、ER蘇生センター
(医)新松田会 高知医療学院	〒781-0270 高知市長浜6012-10 TEL 088-842-0412 FAX 088-841-1783	理学療法学科
(医)仁智会 ヘルシーケアなはり	〒781-6402 安芸郡奈半利町乙3740-1 TEL 088-738-5566 FAX 088-738-5564	入所、ショートステイ、通所(デイケア)
(学)高知学園 高知リハビリテーション 専門職大学	〒781-1102 土佐市高岡町乙1139-3 TEL 088-850-2311 FAX 088-850-2323	理学療法学専攻・作業療法学専攻・ 言語聴覚学専攻

## 訃報

このたび、本会 元会長 中屋 久長 先生がご逝去されました。

先生には、在任中をはじめ長年にわたり、高知県理学療法士協会および日本理学療法士協会の発展に多大なるご尽力を賜りました。

ここに生前のご功績に深く敬意を表しますとともに、謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

会長 大畑 剛



## 編集後記

寒さも次第に和らいできましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。30年に一度と言われる少雨が心配ですね。我が家も最近では節水を心がけた生活を送っています。

今回の巻頭言ではワークライフバランスや、職場における健康管理「産業保健」という分野について語られています。私も年齢を重ねるにつれ、いつまで元気にこの仕事が続けられるだろうかと考えることがあります。理学療法士という職種はまさに体あっての仕事ですよ。皆さんもどうぞ自分の体をお大事に仕事に励んでください。

さて昨年6月より新たな組織編制で動き始めた高知県理学療法士協会ですが、新しい部署名は馴染んできたでしょうか？今回は新設された地域連携推進部に設けられた、各課の活動内容について紹介しています。巻頭言でも出てきた産業保健や学校教育、イベント運営や災害支援など、多岐にわたり高知県の理学療法士が活躍していることが分かりますね。

4～5ページでは山本双一先生の旭日双光章受章・宮本謙三先生の厚生労働大臣表彰についてのご紹介と、先日盛大に開催されました祝賀会に関する記事を写真とともに掲載しています。私も祝賀会に参加させていただきましたが、山本先生のお人柄の分かるユーモア溢れるスピーチと手土産に頂いた「始祖鳥のフィギュア」がとても印象に残っています。この度は誠にありがとうございます。

最後に先日第51回衆議院議員選挙が行われましたが、日本理学療法士協会の「代議員選挙」はお忘れではないでしょうか？今回は「代議員制」とはどんな制度で、なぜ代議員が必要なのかという基本的なところを掲載していますので、こちらの選挙にも目を向けていただくと嬉しいです。

それではまた次号をお楽しみに。

(濱尾 英史)

高知県理学療法士協会ニュース No.186 令和8年2月27日発行

発行所 公益社団法人 高知県理学療法士協会

〒780-0054 高知県高知市相生町1-25 レジデンスノナミ107号室

TEL&FAX: 088-879-8023

http://www.kopta.net e-mail:jimukyoku@kopta.net

発行者 大畑 剛

広報誌部編集委員

